

平成 24 年度県立高等学校の学科改編について

高校教育課

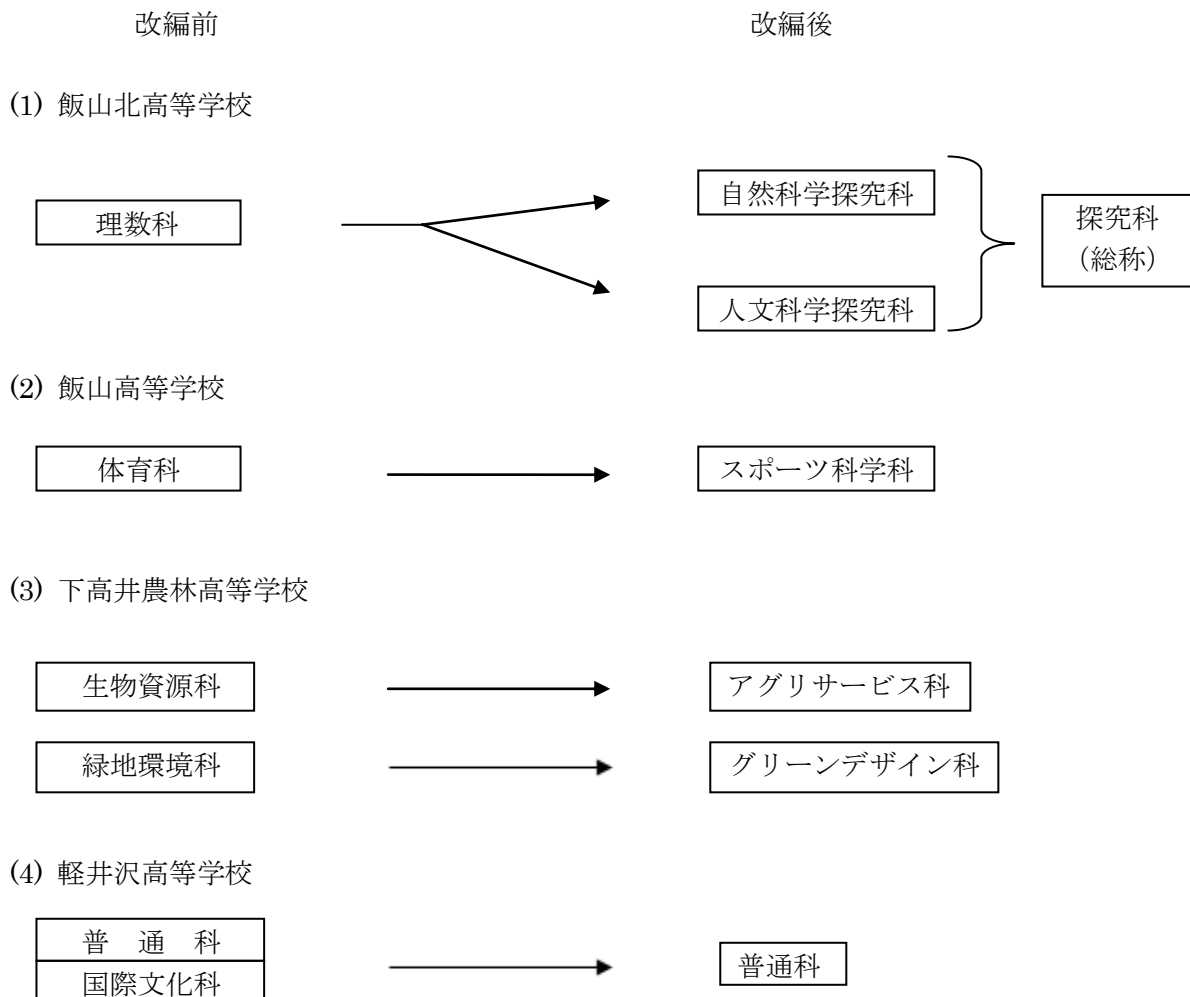
1 改編理由

- (1) 「高校生の明日をひらく県立高校の創造―第 1 期長野県高等学校再編計画―」では「魅力ある高校づくり」を 1 つの柱としており、各校における魅力づくりを推進することとしている。
- (2) (1)の趣旨に沿って平成 24 年度については、下記の 4 校により学科改編の要望があり、いずれも妥当なものと認められるので、長野県立高等学校管理規則第 2 条に定める学科の改編を行うものである。
なお、この内容については来年度の生徒募集に向けて中学生に説明を行っていくこととする。

2 実施時期

平成 24 年 4 月 1 日

3 改編内容



4 新学科の概要

学校名	新学科名	新学科の概要
飯山北	自然科学探究科 人文科学探究科 (総称 探究科)	1 改編理由 ① 本校の理数科は平成 10 年に設置され、10 余年の間、飯山北高校の牽引力として発展してきた。専門教科の深い学習をもとに、自らテーマを設定した課題研究の取り組みを通して、生徒は目的意識を持ち、学習意欲を高め自分の力を伸ばし、その結果として、年々進路実績も向上してきた。しかしながら、理数科の中には文系への進学を希望する生徒もあり、その対応が課題となっていた。二次統合を機に、新しい発想で、これまでの理数科の学びの手法を発展させた特色学科を設置し、理系・文系の両方に対応したいという要望が強くなった。 ② 自然科学探究科・人文科学探究科においては、自ら学び、課題を見つけ、考え、探究し、適切に表現する方法とスキルを学習するためのプログラムや少人数の生徒によるゼミ、および課題研究の活動を通して、創造性に富んだ主体的な学習者を育てる。また、英語力の向上と国際的な視野やコミュニケーション能力の養成により、国際社会や世界平和に貢献できる人材の育成を目指す。各教科の知識理解とそれを活用する能力を伸ばし、「大きな知」を追求することで進路実現を図り、地域の教育要求に応える。 ③ 平成 22 年度のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定により、その教育研究課題と自然科学探究科・人文科学探究科の理念が同様の方向性をもっていることから、教育内容の研究が進み、2つの探究科発足の準備が整った。 2 学科の内容 (1) 学科の目標 ①自然科学探究科 数学や理科の系統的・発展的な学習と自然科学に係る様々な事象を探究する過程を通して、自然科学への理解を深め、科学的、数学的に考察し、表現する能力を育てる。また、英語力の向上と国際的な視野やコミュニケーション能力の養成により、国際社会や世界平和に貢献できる創造性に富んだ主体的な人材の育成を目指す。 ②人文科学探究科 国際理解や国際文化に関する専門的な学習など人文・社会科学的分野及び自然科学に係る様々な事象を探究する過程を通して、自国や諸外国の社会事情や科学、文化について理解を深める。また、英語力の向上と国際的な視野やコミュニケーション能力の養成により、国際社会や世界平和に貢献できる創造性に富んだ主体的な人材の育成を目指す。 (2) 学科の特徴 ① 1 年次は共通履修で、「理数分野」・「英語分野」については発展的な内容を学び、2 年次から「人文科学探究科」・「自然科学探究科」の教育課程にしたがい、各学科の専門科目の履修により系統的で発展的な学習を深め、進路に応じた学習を進める。

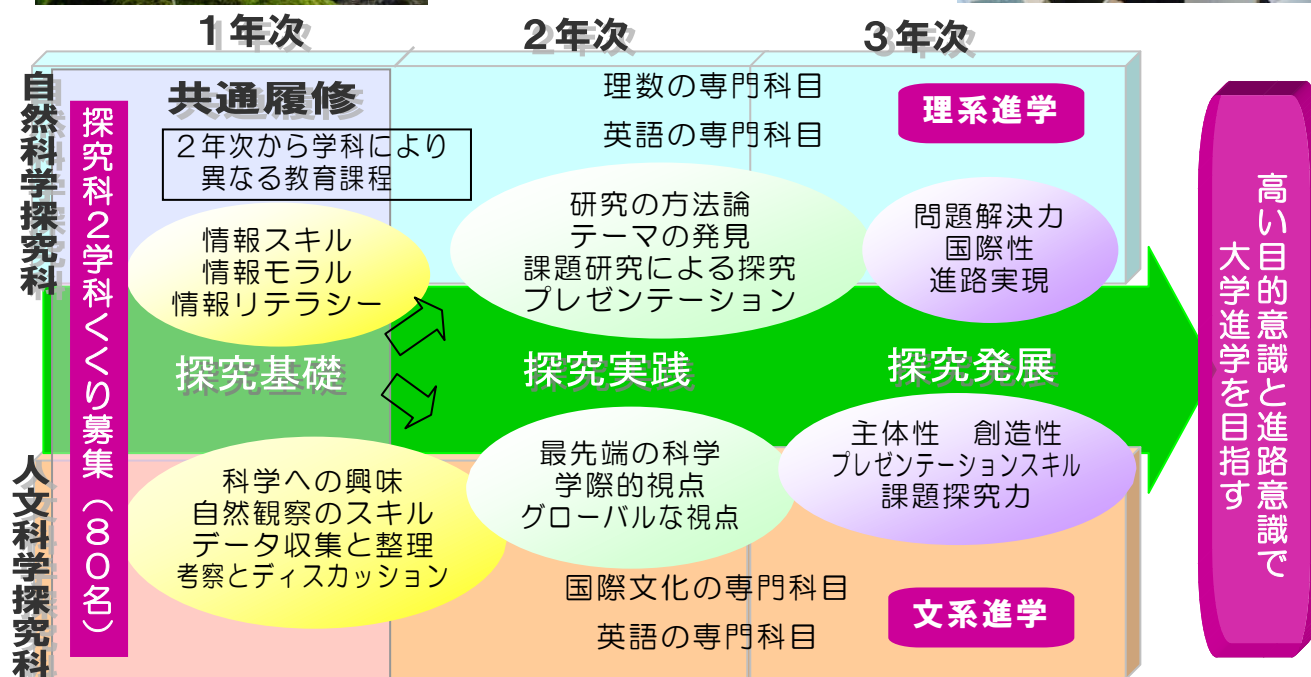
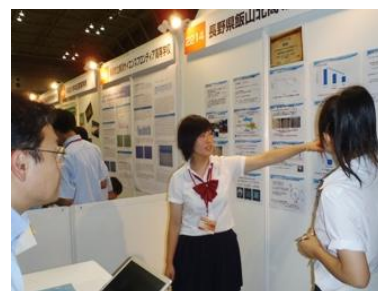
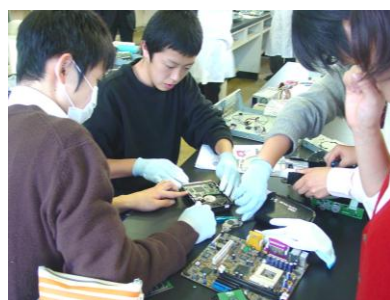
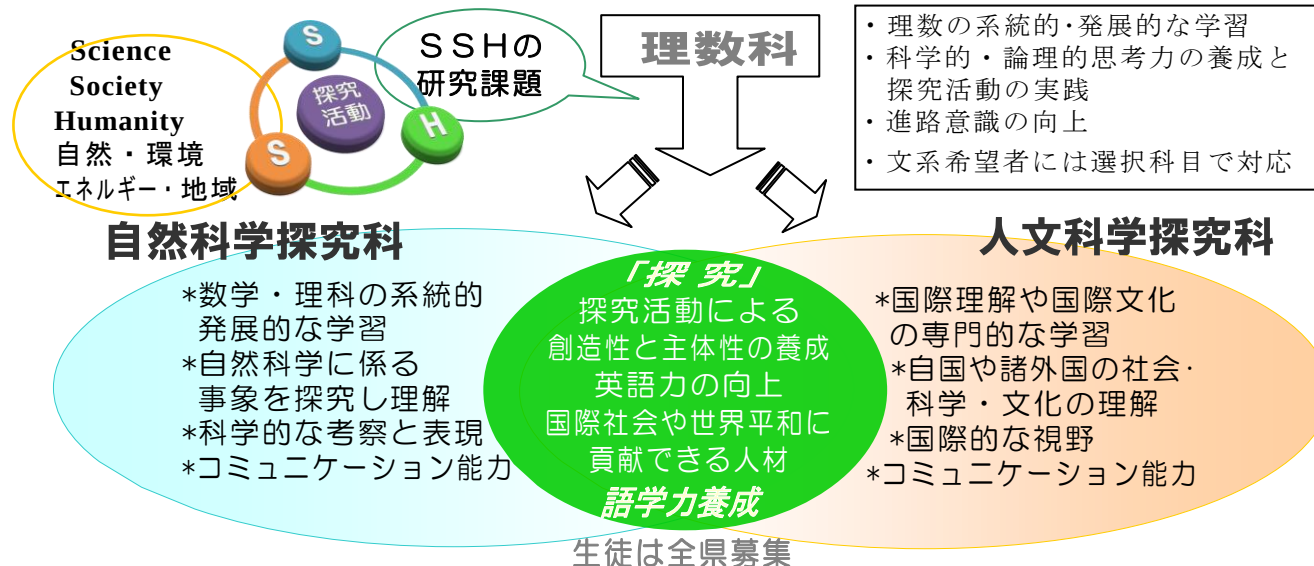
		② 1年次から3年次まで、学校設定教科「探究」の科目「探究基礎」、「探究実践」、「探究発展」を履修し、科学的な探究の技法やコミュニケーション能力を養成し、課題研究を通して「大きな知」を追求し、科学する力を伸ばす。 ③ 大学・企業・研究機関等との連携を深め、発展的な学習や探究活動に対して具体的な指導と協力を得たり、大学や研究室に訪問して実験の指導を受けたりするなど積極的に交流を図る。また、課題研究のフィールドを地域に求め、地域の関係機関の助言により研究を進めたり小中学生に学習指導の機会をつくったりするなど地域とも密接な関係をつくっていく。
飯 山	スポーツ科学科	1 改編理由 ① 平成4年度「特色ある学科づくり」として、飯山南高校にスキー種目を中心とする体育科が設置され、世界的に活躍できる選手や指導者の育成を目標に、オリンピック選手を輩出するなど実績を残してきた。旧第一通学区の市町村ではスキーは重要な観光産業であるので、地元高校のスキー部の生徒の活躍は地域とも密接な関係にある。また、スポーツに関する地域の関心も強く、スポーツを通じた指導者の育成へのニーズも高い。2次統合をひかえ、地域に根ざした高校として新しい魅力づくりを進める。 ② これまでの体育科の成果を継承しつつ、体育理論とそれに基づく科学的トレーニングの研究などにより、スポーツ実技だけでない科学的な学習も充実させるなど、先進的な競技者、指導者の育成を目指し、さらなる発展を図る。 2 学科の内容 (1) 学科の目標 基本理念を「知・徳・体」とし、知（学力）、徳（人格）、体（体力）を高めて競技力の向上を図るとともに人間力を高めることとし、先進的な競技者、指導者の育成を目指す。 (2) 学科の特徴 スポーツを科学的にとらえる力をつけるため、「スポーツ概論」（1～3年次）では、1年次にはスポーツの歴史や意義を学び、加えて人体のしくみを知る解剖学を、体づくりの知識を得るためにスポーツ栄養学を学ぶ。2年次にはスポーツ心理学、スポーツ生理学、スポーツ力学、トレーニング学それぞれの概論、テーピング理論と実習を学ぶ。3年次にはスポーツ心理学、スポーツ生理学の実習を学び専攻種目等への探究心を高め、各自の課題研究につなげる。また、3年間通じてEQを学び、自己理解を深め、自己開発につなげる。 「スポーツ総合演習」（1～3年次）では、パソコン活用能力、プレゼンテーション能力の育成を図り、加えて新体力テスト、形態測定、メディカルチェックのデータを分析処理する能力を身につけ、課題研究へ取り組む。 1年次の普通教科の単位数を増やし、3年次には普通科との選択科

		目の乗り入れも考慮し、各自の進路希望に応じた幅広い選択科目を設置し、基礎学力の向上を図るとともに、大学進学等にも対応できる体制を確立する。 先進的な競技者として、専攻種目を通して知・徳・体の全てを併せ持った「人」づくりを目指すとともに、指導体制の充実のため卒業生や地域とのネットワークを構築する。また、指導者育成の観点から小・中学校との連携や地域スポーツとの交流を行う。
下高井 農林	アグリ サービス科 グリーン デザイン科	1 改編理由 ①アグリサービス科（アグリカルチャーとサービスを結合した造語） 従来の、農産物の栽培生産や家畜の飼育等の1次産業的な知識と技術を習得することに重点を置いた学習内容から、栽培・生産・飼育した農産物に付加価値を添加した新たな利用法の開発、販売、マーケティングなどを加えた、総合的な農業学習への転換が求められている。起業的な付加価値農業や農村ビジネスの創出に重点を置き、地域・企業との連携をとおして、地域に貢献できる実践力やコミュニケーション能力の育成を図り、特色校としての魅力を高める。 ②グリーンデザイン科（グリーンとデザインを結合した造語） 従来の、木材生産、森林管理・保全や造園土木等に関する1次・2次産業的な知識と技術を習得することに重点を置く学習内容から、生活環境を快適にしていくアメニティ技術や癒し空間・緑化空間を創造するデザイン、公園や森林・自然環境に関する知識や技術の習得を目指す学習への転換が求められている。豊かな感性の育成に重点を置き、地域・企業との連携をとおして、地域に貢献できる実践力やコミュニケーション能力の育成を図り、特色校としての魅力を高める。 ③特徴 2学科8コースとして、少人数学習による高い専門性とともに、まず学科を選び、その学習を通してコースを選択する2段階の選択方式により、多様化する生徒の学びや進路のニーズに対応して、主体的・自主的に無理なく基礎・基本から専門・応用・発展へ段階的に専門学習を深めることができる学習環境を提供する。 2 学科の内容 (1) 学科の目標 ①アグリサービス科 農産物の生産・飼育から開発・加工・流通に関する学習、安全・安心な食料を供給する知識と技術を習得するとともに、地域との交流学習を通して、地域理解を深め、地域活性化の原動力となれる人材の育成を目標とする。 ②グリーンデザイン科 身近な緑化技術としての造園・ガーデニング技術やプランター栽

		培、花壇づくり、草花栽培などから、公園、森林、地域の自然環境まで幅広く学習する。また、地域との連携を図りながら地域を理解し、自然素材から学校ブランドなどの商品開発、地域の中で生まれた木工・造園などのものづくり技術の学習を通して、地域に貢献できる人材の育成を目標とする。 (2) 学科の特徴 ①アグリサービス科 農産物の栽培・飼育から加工・流通までの基礎的な知識と技術、食物の調理・食料や食品の安全に関する基礎的な知識と技術、バイテクや加工学習を通じた特産品や地域ブランドの開発などの起業的農業に関する知識と技術、スクールパーク（ふれあい農場、体験農場）や農林ショップ（農産物や加工品の販売、加工・利用法の紹介、学校紹介）を通じたヒューマンサービスに関する知識と技術を学ぶ。 植物科学、動物科学、食品科学、食文化の4コース ②グリーンデザイン科 ガーデニング・デザイン・緑化材料の基礎的な知識と技術、草花や自然の素材などを生かしたものづくりやアメニティ空間創造の知識と技術、地域環境や農山村の多面的機能を活用したグリーンツーリズムなどに関する知識と技術、スクールパーク（ふれあい庭園、庭園開放）や農林ショップ（作品等の販売、利用法の紹介、学校紹介）を通じたヒューマンサービスに関する知識と技術を学ぶ。 緑地工学、地域環境、緑地デザイン、フラワーデザインの4コース ③特徴 1年次はくくり募集による共通履修で、2年次にアグリサービス科とグリーンデザイン科に分かれた学科学習、3年次に各学科4コースで専門性の高い学習を深める。
軽井沢	普通科	1 改編理由 ① 本校国際文化科は、平成5年度の県内初の英語科設置以来、平成19年度の現行学科への転換を経て、英語系・国際系学科として一定の評価を得てきた。しかし、同一通学区内の上田染谷丘高等学校に国際教養科が設置される中、同じ国際系の学科としての違いが不明確なことなどから、近年志願者が減少してきている。そこで、国際親善文化観光都市「軽井沢」ならではの歴史的・文化的環境や自然環境などの立地条件をさらに生かし、大学・地域と連携した観光・環境に関する学習、外部講師の活用、インターンシップ等の体験的な学習などを取り入れ、教育内容の充実を図ることで、グローバル社会にふさわしい人材の育成を目指したいと考えた。 ② 中学3年の段階では、高等学校における学習内容の理解や学科選択に関して困難な面がある。そこで、高校1年次に、全生徒が高等学校の基礎的科目を中心に同一科目を履修しながら、自己の将来やコース選択を見据えたキャリア教育を行うことにより、2年次に一層適切なコース選択を行えるようにする。 ③ 普通科・国際文化科の枠を取り払うことにより、すべての生徒に多様な選択科目を提供できるなど、弾力的で効果的な教育課程

		の展開が可能となる。また、これまで英語科・国際文化科で培ってきたイングリッシュキャンプや国際交流、卒業エッセイの作成、英語検定取得などのノウハウを普通科にも敷衍することで、学校全体の活性化と教育の充実が期待できる。 2 改編後の内容 ① 1年次では、普通教科の基礎的な必修科目を共通履修する。積み上げが重要な科目においては、学び直しやドリル学習などを積極的に取り入れ、基礎基本の定着を目指す。また、学力差の大きい数学・英語等については、習熟度別少人数講座で授業を行い、それぞれの学力の伸長を図る。 ② 2年次からは4つのコースに分かれる。文系科目を多く履修し、文系大学への進学を目指す「文系アドバンス」コース、理系科目を多く履修し、理系大学や医療系専門学校進学を目指す「理系アドバンス」コース、商業や実社会に役立つ科目を多く学び、就職や専門学校進学を目指す「キャリアデザイン」コース、外国語・国際関係・観光などの科目を多く学び、言語・国際・観光・環境分野の大学・専門学校進学や就職を目指す「グローバルスタディ」コースである。 ③ 3年次には、共通選択科目として、通常の科目以外に、学校設定科目「環境」や、中国語、さらには、自ら学習課題を設定し自ら学び探究する「課題探究」の履修が可能である。
--	--	--

平成24年度より県下初の新学科がスタートします 理数科が進化発展し、探究科にかわります 飯山北高等学校



SSHによる地域や大学・研究機関等との連携により学習の質の向上を図る

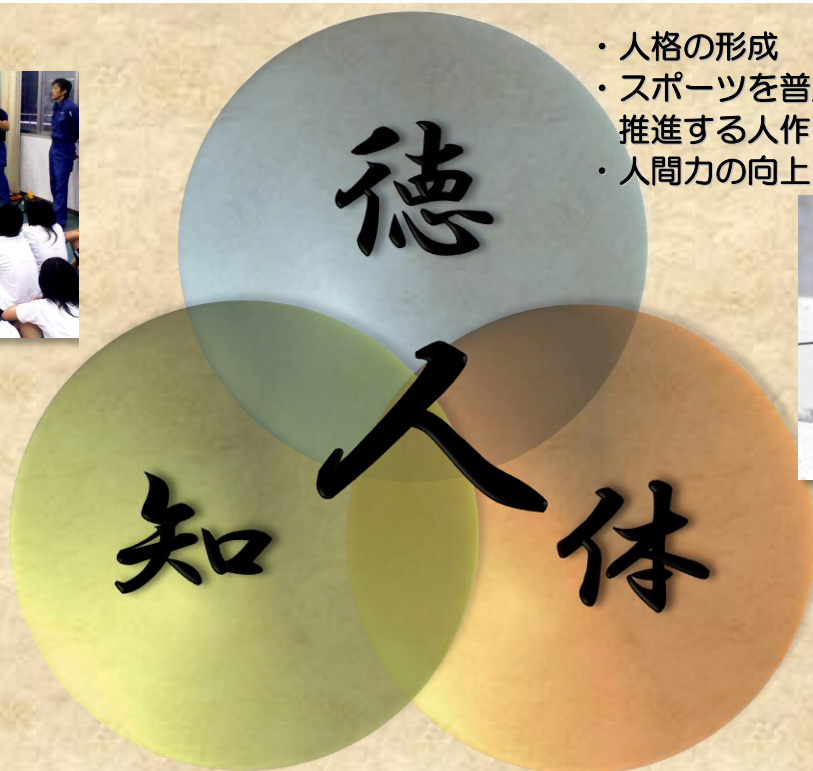
飯山高校 スポーツ科学科 概要

The Division of Sport Sciences

知・徳・体の全てを併せ持った「人」づくりを目指す



- ・考える力
- ・工夫する力
- ・探究する力
- ・語学力



- ・人格の形成
- ・スポーツを普及推進する人作り
- ・人間力の向上



- ・競技力の向上

特色あるカリキュラム

専攻実技

- ・専攻種目ごと 1～3 年の縦割りで実施し、技術力向上のみならず、指導法について学ぶ。
- ・指導者育成の観点から小中学校との連携や地域スポーツとの交流を行う。

学力・人格・
体力を高めて
競技力向上を
図ると共に、
人間力をつける

スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅵ

- ・陸上、水泳、球技、武道、体づくり運動を学び、指導者としての幅広い資質を身につける。

野外実習

- ・臨海、登山、冬季実習を通じて、自然に親しむ態度を育て、仲間との協力・信頼関係を築く。

スポーツ総合演習

- ・スポーツテスト、メディカルチェックのデータ処理と活用法を学ぶと共に、各自の体力向上につなげる
- ・3 年次には 3 年間の集大成として、各自の専攻種目に関する課題研究を行い、発表する。

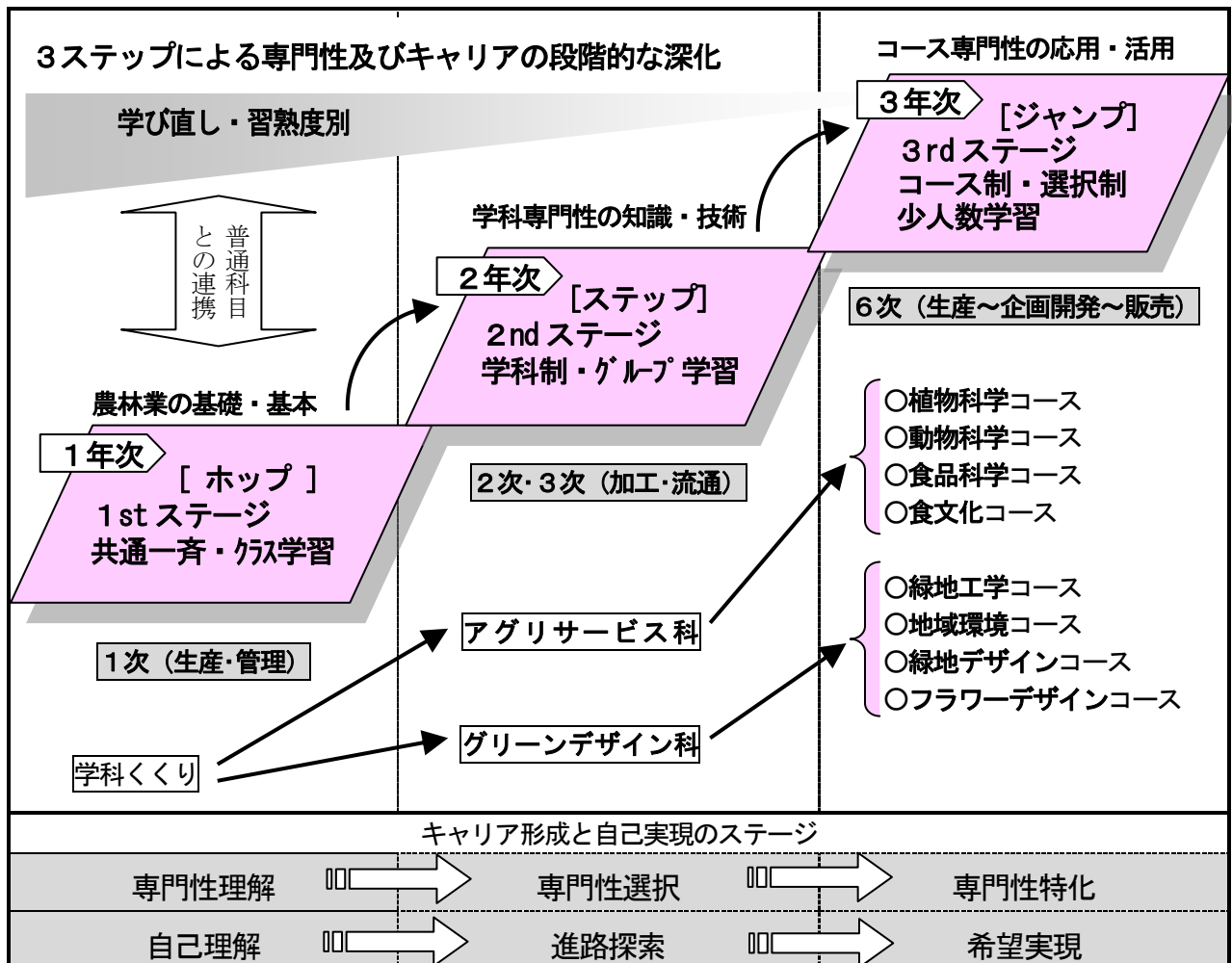
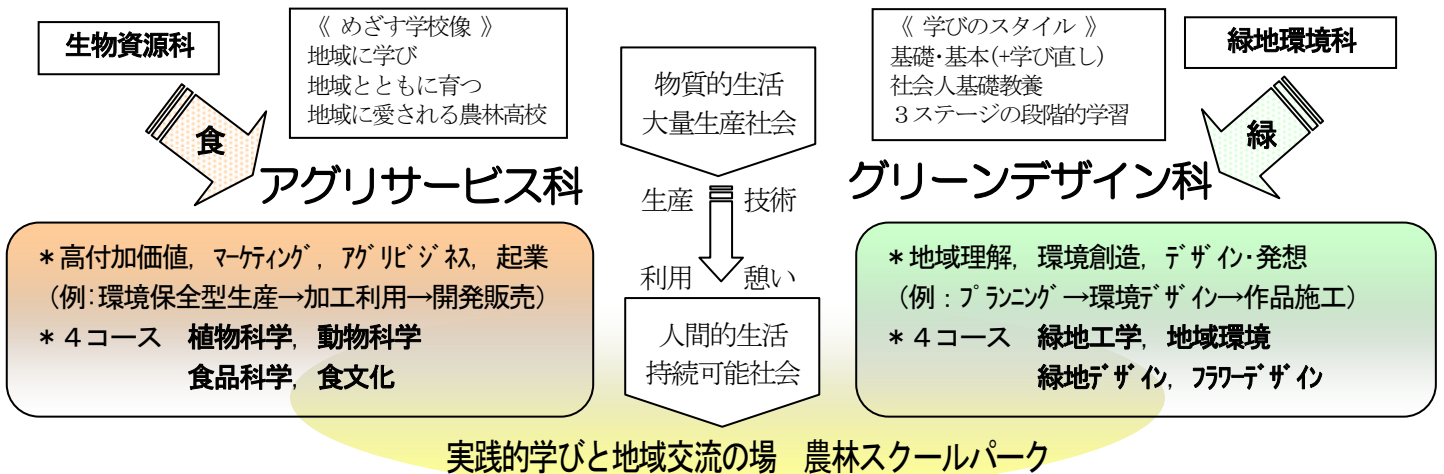
スポーツ概論

- ・外部の専門講師にも依頼して、体育史、解剖学、栄養学、運動生理学、運動力学、運動心理学、テーピング理論、EQなどを学び、競技者・指導者としての資質向上を図る。

農林アグリ・ルネッサンス

…… “農力”を活かした地域活性化のための人材育成をめざして ……
平成 24 年度から下高井農林高校が新学科に変わります

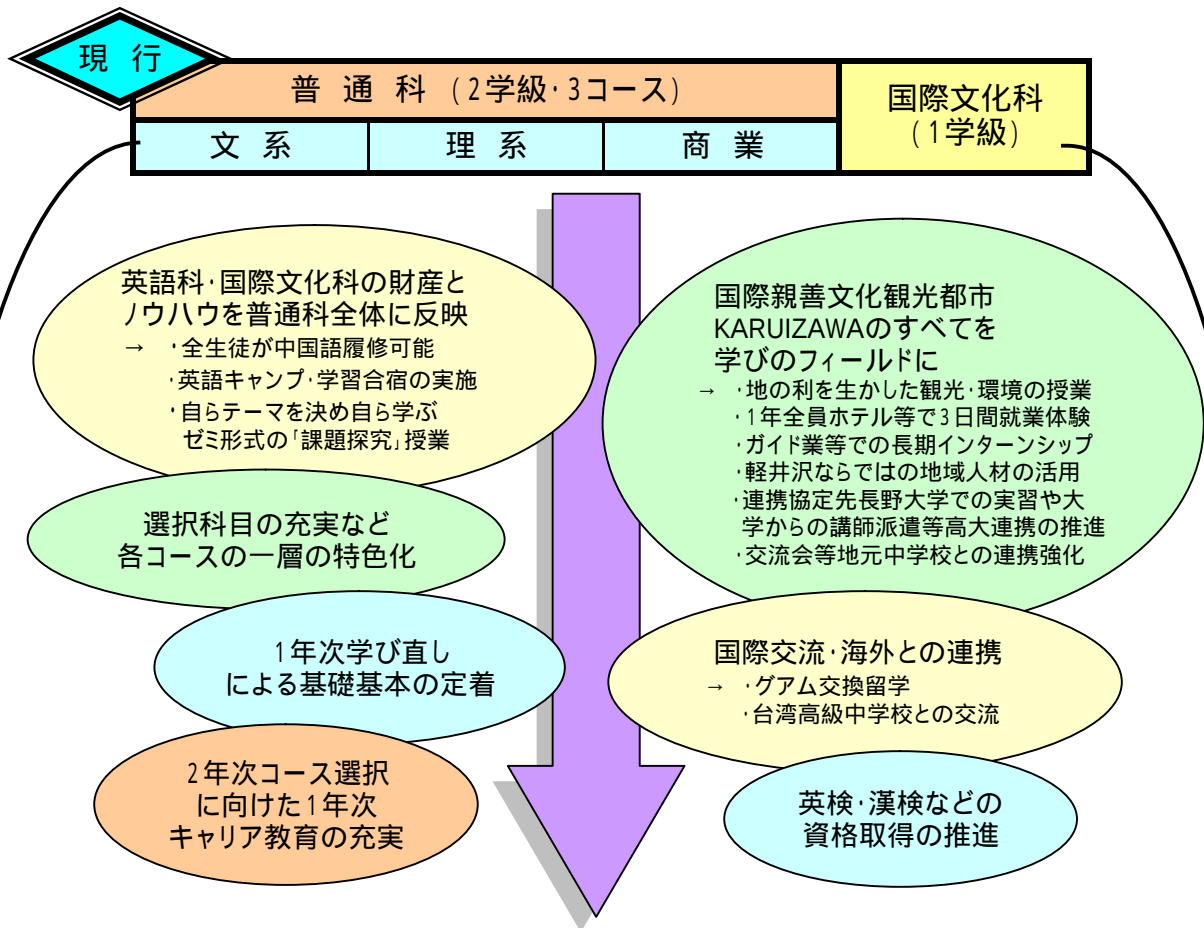
農業の「特色校」として、北信州の特産品と地域資源を活用し、地域の発展と豊かな生活に貢献



2012年 軽井沢高校は大きく変わります

英語科・国際文化科の財産とノウハウを普通科に継承

国際親善文化観光都市KARUIZAWAでしかできない学びを実現



普通科コースの充実・国際文化科を発展的に普通科コースに改編

新

普通科 (1年次3学級募集)

全教科共通履修 + コース選択に向けたキャリア教育 (興味関心適性を把握)

募集定員が今年度と同数の場合

2年次・3年次 (4コース展開)

文系アドバンス	理系アドバンス	キャリアデザイン	グローバルスタディ
文系四大・短大進学 公務員就職	理系四大・短大進学 医療系専門学校進学	一般専門学校進学 一般企業就職	言語・国際・観光・環境 分野への進学・就職
古典・日本文化史・ライティング・政治経済・英文法基礎	数学B・数学・数学探究・化学・物理基礎・物理・生物	政治経済・ビジネス情報・文書デザイン・簿記	観光・プレゼンテーション・中国語・異文化コミュニケーションなど
共通選択科目 課題探究・中国語・環境・現代文読解・教養数学・総合音楽・総合美術・フードデザインなど			

想定される進路先

各コース独自の主な科目・特色科目

KARUIZAWAにしかない普通科

生徒の進路希望の実現

元気・やる気・活気のある学校